

# 公約実現化プランを策定

「元気ないとしまを豊かさ実感のいとしまへ」（政策）

○選挙時に示した11の公約を施策とし、これを実現化させるための事業を盛り込んだプラン

- 全体で108事業
- 事業費合計：6億7,000万円（骨格予算＋肉付け予算）
- 効果的かつ効率的に、スピード感を持って実現できるよう新規事業や拡充事業で構成

## 毎年度見直し、バージョンアップ

○実現化プランには、PDCAサイクルを導入

- 年度ごとに進ちょく度を測り、効果等を検証。次年度のプランに反映。
- より効果的なものがあれば、新たな事業の追加も（固定化しない）。



⇒市民の皆様が日々の生活の中で豊かさを実感できるよう、4年間の任期中で11の公約の実現へ向け全力で当たりたい。

# 主な公約事業(目玉事業)

## 市民が豊かさを感じられる事業を積極展開

### ○公約2 子育て支援と青少年健全育成

- 中学校少人数学級推進事業（市負担で職員を任用し、中学1年生の35人学級を実施）
- 子どもの入院医療費助成事業（保育所民営化の原資を活用し、小3生まで無料化）

### ○公約3 糸島の豊かな自然を守り文化を継承

- 松林保全アダプト事業・竹林整備促進事業（市民協働で松林保全・竹林整備支援）
- 伊都文化会館文化振興イベント開催事業（年に1～2回ホールイベント開催）
- 多目的ホール整備事業（図書館跡施設を客席300人規模の小ホールに整備）

### ○公約5 市民協働による防災・安全安心のまちづくり

- 防災指導員配置事業（自衛官OBを1人採用）

### ○公約6 住みたい、住み続けたい、定住の促進

- マイホーム取得奨励金（建物の固定資産税相当額を3年間奨励金として交付）

### ○公約9 九州大学を生かした学校教育の充実と学術研究都市の構築

- ICT街づくり推進事業（ICカードやタブレット端末を活用した見守り事業）
- 土曜日の教育活動推進事業（土曜日に地域の人材を活用した補充的・発展的な学習）

### ○公約10 農業、漁業、商工業の育成と働く場の創出

- 農業後継者・新規参入者・帰農者・耕作放棄地再生利用者への各種支援事業

# 6月議会開催(6月2日～18日予定)

## 議案16件と報告5件肉付け予算を計上

### ○提出議案(16件)、報告(5件)

- 新規条例：1件(糸島市墓地等の経営の許可等に関する条例)
- 一部改正条例：5件
- 専決処分：2件
- 報告：5件
- その他の議案：3件
- 予算：5件

## 一般会計4億3,412万円を補正

### ○骨格分+肉付け分合計で、325億8,479万円

- 昨年度の当初予算とほぼ同規模(2,777万円減)
- 肉付け予算のうち公約分は、64事業で3億2,426万円を計上

### ○公約実現化以外の主なもの

- 庁舎等改修事業：570万円(支所廃止後の二丈・志摩庁舎の利活用へ向けた設計)
- 新庁舎整備事業：156万円(基本構想策定)
- 社会保障・税番号制度導入事業：5事業総額8,249万円
- 波多江駅周辺整備事業：1,042万円(駅南口のバリアフリー化へ向けた予備設計等)

**⇒公約実現に必要な予算の議決へ向け、力を注ぎたい。**

# 政策企画研修「いとしま政策企画塾」を今年も開催

各業務において政策形成の核となる職員を育成する

## ○政策能力向上を目的とした内部職員研修

5月30日開講

- 今後の糸島市行政を担う若手職員（採用後5年経過かつ概ね40歳まで）を中心に、各部課からバランスよく18人を選出
- 研修期間は、5月30日から来年2月27日までの間の21日間
- 6人ずつ3班に分かれ、班ごとに職員自らが考える糸島市の地域課題を研究テーマに設定。それぞれの班で調査研究を進め、政策を作り上げる。

## ○九州大学の先生を講師に招へい

- 講師は、九州大学大学院法学研究院 准教授 嶋田暁文さん

## ○平成25年度研究成果 ⇒ 優れた政策は、事業化を積極的に検討

- めざせ！ 日本一の子育て応援都市 ～子育てしやすいまちづくりを通じた定住促進～
- 最高のエンディング ～人生の最終章を自分らしく生きる～
- ～農を活かし、農に活かされるまち～ 「いとしま」

⇒職員数をさらに30人削減する目標がある中で、一人ひとりの政策形成能力を強化し、行政の総合力を高めたい。